

気候情報

2006年12月の日本の天候

気温高い(全国)、
降水量多く日照時間少ない(全国)

12月の天気概況

上旬前半には、冬の気圧配置が続き、日本海側の地方では曇りや雨または雪の日が多く、気温も平年を下回った。その後は時折冬の気圧配置となったものの長続きせず、全国的に気温の高い日が多かった。日本海側の月降雪量は平年を下回り、北・東日本日本海側で少なかった。また、日本列島の南岸を低気圧が頻繁に通過したため、南西諸島や西・東日本太平洋側を中心に曇りや雨の日が多く、ほぼ全国的に日照時間が少なくなった。25日から27日にかけて、低気圧が発達しながら日本列島の南岸を通過、全国的に大雨となったほか、低気圧に近かった東日本太平洋側から北日本では暴風となった。

上旬：上旬前半を中心に日本付近は冬の気圧配置が続き、北日本から西日本にかけ寒気が南下し、日本海側の地方では曇りや雨または雪となった。上旬後半には、南岸を低気圧が通過し、南西諸島から西日本にかけ降水量が多くなった。**旬平均気温**は、北日本では低く、東・西日本では平年並、南西諸島では高かった。**旬降水量**は、北・東日本日本海側、西日本太平洋側、南西諸島では多く、北日本太平洋側では少なく、東日本太平洋側、西日本日本海側では平年並だった。**旬間日照時間**は全国的に少なく、特に日本海側で顕著だった。

中旬：日本列島南岸を低気圧が次々と通過し、東日本以西では曇りや雨の日が多かった。低気圧通過後の冬の気圧配置は一時的で、日本海側の降雪も少なく、気温は全国的に高かった。**旬平均気温**は、全国で高かった。**旬降水量**は、北日本や東日本日本海側で少なく、東日本太平洋側、西日本、南西諸島では多かった。**旬間日照時間**は、北日本、東・西日本日本海側では平年並、東・西日本太平洋側、南西諸島では少なかった。

下旬：低気圧や前線が頻繁に通過し、その後、移動性高気圧に覆われるなど、天気は短い周期で変化し、寒気は入りやすかった。25日から27日にかけて、低気圧が発達しながら南岸を北東進し、全国的に雨となった。特に、北・東日本の太平洋側では12月としては記録的な大雨となった。**旬平均気温**は、北日本、東日本、西日本で高く、南西諸島では平年並だった。**旬降水量**は、北日本、東日本、西日本太平洋側で多く、東日本日本海側では少なく、南西諸島では平年並だった。**旬間日照時間**は、北日本日本海側、西日本で多く、北日本太平洋側では少なく、東日本、南西諸島で

は平年並だった。

12月の気候統計

月平均気温：全国的に高かった。東北地方南部から南西諸島にかけての所々で、平年を1℃以上上回った。

月降水量：西日本の日本海側では平年並だったが、そのほかの地域では多かった。特に、北日本から西日本にかけての太平洋側ではかなり多く、平年の300%以上となったところがあった。

月間日照時間：西日本の日本海側では平年並だったが、そのほかの地域では少なく、東日本の太平洋側ではかなり少なかった。

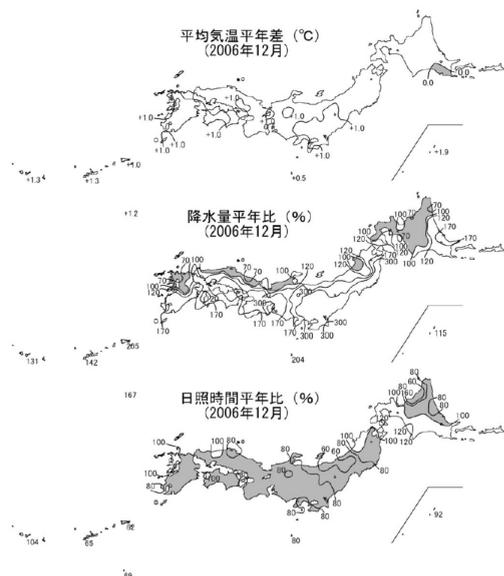
降雪・積雪：降雪の深さ月合計は、北日本ではかなり少なく東日本では少なかった。西日本では平年並だった。一方、月最深積雪は、北日本と東日本の多くの地点で少なく、西日本では平年並のところが多かった。

(気象庁観測部統計室)

12月の記録(1位更新のみ)

- ・月平均気温高い方から(℃)
父島 22.0
- ・月降水量多い方から(mm)
八戸 155.5 水戸 198.5 東京 200.5
千葉 200.0 奈良 116.0 など9地点
- ・日照時間少ない方から(時間)
大船渡 103.0 新庄 21.2

2006年12月の平年差(比)図



注) 陰影の部分は、平年より低い(少ない)地域を示す。